



こどもクリニックニュース

NO. 182 平成27年3月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成27年4月まで)

3月	13日	(金)	1才半健診	騎西・保健センター
	23日	(月)	3才健診	加須・保健センター
4月	3日	(金)	3ヶ月健診	加須・保健センター
	13日	(月)	3才健診	騎西・保健センター
	15日	(水)	1才半健診	加須・保健センター
	22日	(水)	内科健診	水深小

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。
また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

休診の予定

4月24日(金)、25日(土)
勝手ながら、臨時の休診といたします。

水曜日は、一日休診です。



小児科休日診療の予定

平成27年4月までの当番一覧です。
診療は9:00~12:00です。

月	日	曜日	当番医
3月	1日	(日)	福島小児科医院
	8日	(日)	つのだ小児科医院
	15日	(日)	ともながこどもC
	21日	(土)	加藤こどもC
	22日	(日)	福島小児科医院
	29日	(日)	ともながこどもC
4月	29日	(水)	ともながこどもC

4月~10月までは、祝日のみの診療となります。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

◎4月に就学予定のお子様の保護者の方へ!! 麻疹風しん(MR)ワクチン終わりましたか?

MRワクチンは1歳および就学前1年間の合計2回の接種です。就学前の接種のタイムリミットは3月31日です。まだ接種を済ませていないお子様は、急いで計画してください。

◎3歳と4歳のお子様の保護者の方へ!!

昨年10月に始まった水痘ワクチン定期接種の特例で、3歳と4歳のお子様で一度も水痘ワクチン接種をしていない方は1回だけ無料のワクチン接種ができます。ただしこの特例措置は3月31日で終了ですので対象となる方は急いで計画してください。

スギ花粉・・・飛び始めました!

2月中旬から、花粉症の症状が出始めたために、治療を始める方が増えてきました。今年のスギ花粉は例年よりも多いという予想が出ています。去年が軽かったと油断していると、辛い思いをするかもしれませんよ。

花粉対策の第一番は「花粉を避ける」こと。

外出するときは、マスクやメガネ、帽子などでスギ花粉を目や鼻に入れないようにしましょう。

家の中に花粉を持ち込まないことも大切です。外出から帰宅した時は、玄関に入る前に服に着いた花粉を叩き落とすこと。洗濯物は室内干しで我慢すること、布団も干さない方が無難です。晴れた日に窓を開けるのも止めましょう。

予防薬は花粉が飛ぶ前(症状が出る前)に開始することがポイントです。



裏面に「舌下免疫療法」を紹介しています。

スギ花粉症の「舌下免疫療法」

いまや国民病とも呼ばれることもあるスギ花粉症ですが、現在の治療方法は①花粉を避ける、②対症治療を行いながら飛散の終わりを待つだけでした。平成26年10月に、今までとは全く異なる薬「シダトレン」が発売され、スギ花粉症治療の選択肢が1つ増えました。

新しい治療とは、スギ花粉エキス（シダトレン）を少しずつ体に入れて、体をスギ花粉に慣らすことにより症状を少なくするというものです。免疫療法（めんえきりょうほう）と呼ばれています。口の中（舌の下）にエキスを垂らすので「舌下免疫療法」と言います。自分自身で、自宅で行います。

こんな簡単な方法でスギ花粉症から解放されるのならそれでも大喜びされることと思います。ところがいい話ばかりではなく、この治療法の欠点や限界、問題点も正しく理解しておく必要があります。まず、大ざっぱな要点を挙げてみます。

当前のことですが、シダトレンはスギ花粉症にしか効きませんので、それ以外の花粉症には使用できません。

<治療スケジュール>

シダトレン（スギ花粉エキス）を2週間かけて徐々に増量し、その後一定量を長期間服用します（推奨されている治療期間は3年以上）。スギ花粉が飛散していない時期でも、休まず服用することが大切です。

<効果並びに効果の持続期間>

即効性は少なく、徐々に効果が出てきます。長期間治療すると、多くの方は症状が無くなるか又は症状が軽くなります。ただし全く効果が出ない方も1~2割程度いるそうです。3年以上継続して効果があった場合も、中断して数年過ぎると再発することもあるそうです。

<副反応>

重い副反応はかなり少ないと言われています。比較的多いのは口の中のかゆみなどです。副反応が出やすいのは、服用後30分、治療開始時期（増量期）そしてスギ花粉の飛散時期です。そのため、春先のスギ花粉が飛散している時期には治療開始できません。また毎月1回は医療機関を受診することとなっています。

※服用可能な年齢は、成人および12歳以上の小児となっています。平成27年9月までは、一回の診察で2週間分の薬しか処方できません。

◆舌下免疫療法を受ける時の留意点◆

- ・即効性は少ない（長期、継続する必要がある）こと。
- ・花粉の飛散時期以外も続けること。3年以上。
- ・定期的に受診すること。
- ・3年以上継続しても効果のない方がいること。

なお、シダトレンは、所定の講習会を受講し、登録された医師だけが処方できます。当院では処方可能。

当院は、成人の花粉尘治療も行っています。かかりつけでない方でも、ご要望があれば対応いたしますので、遠慮なくご相談ください。



感染症の情報

インフルエンザの流行は、例年なら2月にピークを迎え、春休みころまでに終息するのがお決まりのパターンですが、今シーズンは年末に大流行した後次第に減少し、B型の流行も今のところ見られません。このまま終わってくれれば嬉しいですね。

2月に目立ったのは胃腸炎（嘔吐、下痢、発熱）とおたふくかぜでした。水痘は、ワクチンの定期接種の効果で大きな流行は見られなくなりましたが、散発的な発生は続いています。リンゴ病も目立つようになってきました。



当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>

このクリニックニュースもご覧いただけます。

クリニックニュースの無料郵送サービスもしています。

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい。

反対に現在郵送サービスを受けている方で、「ネットで読めるから郵送は不要」という場合は、ご連絡いただければ幸いです。